

2月22日(日)

—— 潰瘍学会会場 (3F「会議室B1-3」) ——

8:30～9:10

### モーニングセミナー

#### 特発性消化性潰瘍を再考する

司会：永原 章仁（順天堂大学医学部消化器内科）

演者：藤原 靖弘（大阪公立大学大学院医学研究科消化器内科学）

共催：大塚製薬株式会社

9:20～10:20

### 第53回（2026年）日本潰瘍学会学術奨励賞候補セッション

司会：岩切 勝彦（日本医科大学）

片岡 洋望（名古屋市立大学消化器・代謝内科学）

#### ES-1 オーファンGタンパク質共役型受容体GPR35の大腸炎の病態における役割：腸上皮バリアおよび免疫応答制御との関連

京都薬科大学薬物治療学分野

徳山 こう雅、安田 浩之、林 周作、加藤 伸一

#### ES-2 潰瘍性大腸炎寛解期過敏性腸症候群モデルマウスにおける結腸粘膜痛覚過敏に対する抗アレルギー薬ケトチフェンとプロテアーゼ阻害薬ナファモスタットの作用：腸粘膜に分化誘導される粘膜型肥満細胞の関与

城西国際大学薬学部薬理学研究室

榎戸 雄紀、能城 諒大、伊藤 恵一、竹田 優美、吉田 祥子、田嶋 公人、堀江 俊治

#### ES-3 クローン病における組織常在性記憶T細胞の解析

<sup>1)</sup> 大阪医科薬科大学第二内科、<sup>2)</sup> 大阪大学大学院医学系研究科免疫制御学

木下 直彦<sup>1)</sup>、村上 真理<sup>2)</sup>、柿本 一城<sup>1)</sup>、西川 浩樹<sup>2)</sup>、竹田 潔<sup>2)</sup>

#### ES-4 胃ESD後潰瘍に対してDual Action Tissue (DAT) Clipを用いた縫縮術の経験

<sup>1)</sup> 大阪医科薬科大学内科学2、<sup>2)</sup> 大阪医科薬科大学病院消化器内視鏡センター

箱田 明俊<sup>1)</sup>、岩坪 太郎<sup>1)</sup>、高山 和樹<sup>1)</sup>、佐々木 駿<sup>2)</sup>、菅原 徳瑛<sup>2)</sup>、太田 和寛<sup>2)</sup>、西川 浩樹<sup>1)</sup>

#### ES-5 胃十二指腸潰瘍穿孔に対する緊急手術例における術前筋肉量低下の臨床的意義

<sup>1)</sup> 富士市立中央病院外科、<sup>2)</sup> 東京慈恵会医科大学外科学講座

福島 尚子<sup>1,2)</sup>、高橋 直人<sup>2)</sup>

#### ES-6 大腸ESD後潰瘍に対するクリップ閉鎖効果と完全閉鎖の困難性の検討

大阪公立大学大学院医学研究科消化器内科学

高橋 駿介、福永 周生、北川 大貴、河野 光泰、西田 裕、丸山 紘嗣、大南 雅揮、灘谷 祐二、大谷 恒史、細見 周平、田中 史生、藤原 靖弘

10:30~11:50

## 主題セッション 3

### 外科病棟の胃・十二指腸潰瘍症例の実情

司会：栗原 直人（練馬総合病院）

高橋 直人（東京慈恵会医科大学附属柏病院外科）

特別発言：吉田 昌（医療法人社団東京桜十字）

#### S3-1 狭窄を伴う胃潰瘍穿孔に対する緊急手術後に、待期的に全胃温存手術を行った1例

<sup>1)</sup> 東京慈恵会医科大学附属柏病院外科、<sup>2)</sup> 東京慈恵会医科大学外科学講座

石川 佳孝<sup>1)</sup>、福田 みづき<sup>2)</sup>、小林 毅大<sup>1)</sup>、高橋 直人<sup>1)</sup>、小村 伸朗<sup>2)</sup>、矢野 文章<sup>2)</sup>

#### S3-2 壊疽性膿皮症に対しプレドニゾロン（PSL）内服中の十二指腸潰瘍穿孔患者に、術後止血術が困難となり経カテーテル動脈塞栓術（TAE）を施行した1例

東京慈恵会医科大学外科学講座消化管外科

射手矢 雄介、高橋 直人、石川 佳孝、小林 毅大、高野 裕太、竹下 賢司、福田 みづき、矢野 文章、衛藤 謙

#### S3-3 消化器外科病棟の上部消化管潰瘍患者の実情

国際医療福祉大学病院外科

高橋 潤次、吉田 昌、榎本 浩也、五十嵐 陽介、前田 夏奈子、安田 淳吾、大平 寛典、鈴木 裕

#### S3-4 胃十二指腸潰瘍穿孔に対する緊急手術例における術前筋肉量低下の臨床的意義

<sup>1)</sup> 富士市立中央病院外科、<sup>2)</sup> 東京慈恵会医科大学外科学講座

福島 尚子<sup>1,2)</sup>、高橋 直人<sup>2)</sup>

#### S3-5 当院における胃・十二指腸潰瘍入院症例の役割分担

立川病院外科

中村 哲也、齋藤 隆、矢作 雅史、東 尚伸、秋山 芳伸、片井 均、似鳥 修弘

#### S3-6 外科病棟における胃・十二指腸潰瘍穿孔症例の現状

練馬総合病院外科

栗原 直人、小野 奎一郎、吉川 祐輔、今井 俊一、近藤 慎一郎、小木曾 匡、飯田 修平、徳山 丞

#### S3-7 外科病棟における出血性潰瘍の現状

練馬総合病院

徳山 丞、小野 圭一郎、小木曾 匡、吉川 祐輔、飯田 修平、栗原 直人

#### S3-8 当院における胃・十二指腸穿孔31例の検討

東京都済生会中央病院消化器一般外科

米澤 拓也、鳥海 史樹、日浅 光陽、笹島 奈津子、岩間 望、加藤 文彦、大平 正典、遠藤 高志、原田 裕久

#### S3-9 胃十二指腸潰瘍穿孔に対する緊急手術の治療成績と術後合併症の検討

鹿児島大学消化器外科

大久保 啓史、有上 貴明、下之蘭 将貴、野田 昌宏、佐々木 健、大塚 隆生

12:10~13:00

## ランチョンセミナー 2

### IBD 患者にとってハードルの低い外科治療 ～内科外科の連携を通して～

司会：辰巳 健志（横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター）

演者：松田 圭二（同愛記念病院外科／内視鏡センター／IBDセンター）

共催：アッヴィ合同会社

---

13 : 10~14 : 00

## 企画セッション

### Can we find similarities in the wound healing of the skin ulcers?

司会：河合 隆（東京医科大学病院健診予防医学センター）

天ヶ瀬 紀久子（立命館大学薬学部病態薬理学研究室）

- K-1 Friend or Foe? The wound microbiota-host interactions**  
Dept. of Translational Science for Nursing, Tohoku University Graduate School of Medicine  
Emi Kanno
- K-2 Biofilm and wound microbiota management for preventing cutaneous wound infection**  
Professor, Department of Gerontological Nursing/Wound Care Management, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo/Deputy Director, Global Nursing Research Center, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo  
Gojiro Nakagami
- K-3 TYPE III COLLAGEN: BIOCHEMICAL AND BIOMECHANICAL REGULATOR OF THE HEALING MICROENVIRONMENT**  
University of Pennsylvania, School of Veterinary Medicine, Philadelphia, PA, USA  
Susan Volk
- K-4 Extracellular Matrix and Inflammation as Common Drivers of Fibrosis: Parallels Between Skin Repair and Gastrointestinal Ulcers.**  
Texas Children's Hospital, Baylor College of Medicine, Houston Texas  
Sundeep Keswani

---

14 : 00~14 : 35

## 一般演題

司会：古田 隆久（ふるた内科クリニック）

中島 典子（日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野）

- O-1 当院におけるピュアスタットの導入及び使用経験**  
<sup>1)</sup> 那須赤十字病院外科、<sup>2)</sup> 那須赤十字病院消化器内科  
五十嵐 高広<sup>1)</sup>、中田 洋介<sup>2)</sup>、新井 由季<sup>2)</sup>、吉田 徹<sup>2)</sup>、佐藤 隆<sup>2)</sup>
- O-2 実験的回腸炎モデルにおける亜鉛トランスポーターの発現変動**  
立命館大学薬学部病態薬理学研究室  
大塚 勇輝、天ヶ瀬 紀久子
- O-3 オーフアンGタンパク質共役型受容体GPR35の大腸炎の病態における役割：腸上皮バリアおよび免疫応答制御との関連**  
京都薬科大学薬物治療学分野  
徳山 こう雅、安田 浩之、林 周作、加藤 伸一
- O-4 長期寛解維持を目的とした有用な新規炎症性腸疾患治療薬の探索**  
<sup>1)</sup> 京都薬科大学薬学部薬物治療学分野、<sup>2)</sup> 富山大学和漢医薬学総合研究所消化管生理学分野  
林 周作<sup>1,2)</sup>、小川 雄大<sup>2)</sup>、徳山 こうが<sup>1)</sup>、加藤 伸一<sup>1)</sup>、門脇 真<sup>2)</sup>

---

14 : 40～15 : 20

## アフタヌーンセミナー

### 膠原病と消化管病変

司会：内藤 裕二（京都府立医科大学大学院医学研究科生体免疫栄養学講座）

演者：藤原 靖弘（大阪公立大学大学院医学研究科消化器内科学）

共催：ミヤリサン製薬株式会社

---

15 : 30～16 : 40

## 主題セッション 4

### 下部消化管疾患の病態生理

司会：高木 智久（京都府立医科大学消化器内科）

加藤 伸一（京都薬科大学病態薬科学系薬物治療学分野）

- S4-1 シスプラチン誘発悪心モデルラットにおけるパイカ行動と小腸粘膜への炎症性細胞浸潤に対するデキサメタゾンの作用**  
城西国際大学薬学部薬理学研究室  
田嶋 公人、三浦 梨花、石部 慎太郎、堀江 俊治
- S4-2 潰瘍性大腸炎寛解期過敏性腸症候群モデルマウスにおける結腸粘膜痛覚過敏に対する抗アレルギー薬ケトチフェンとプロテアーゼ阻害薬ナファモスタットの作用：腸粘膜に分化誘導される粘膜型肥満細胞の関与**  
城西国際大学薬学部薬理学研究室  
榎戸 雄紀、能城 諒大、伊藤 恵一、竹田 優美、吉田 祥子、田嶋 公人、堀江 俊治
- S4-3 クローン病におけるAmphiregulin発現の検討**  
大阪公立大学大学院医学研究科消化器内科学  
細見 周平、中田 理恵子、田中 史生、藤原 靖弘
- S4-4 クローン病における組織常在性記憶T細胞の解析**  
<sup>1)</sup> 大阪医科薬科大学第二内科、<sup>2)</sup> 大阪大学大学院医学系研究科免疫制御学  
木下 直彦<sup>1)</sup>、村上 真理<sup>2)</sup>、柿本 一城<sup>1)</sup>、西川 浩樹<sup>2)</sup>、竹田 潔<sup>2)</sup>
- S4-5 潰瘍性大腸炎の再燃病態から考える粘膜Bestrophin2発現**  
<sup>1)</sup> 京都府立医科大学医学部消化器内科学、<sup>2)</sup> 京都府立医科大学医療フロンティア展開学、<sup>3)</sup> 京都府立医科大学生体免疫栄養学講座  
内山 和彦<sup>1)</sup>、高木 智久<sup>1,2)</sup>、内藤 裕二<sup>3)</sup>
- S4-6 日本人炎症性腸疾患関連疾患における、HLA-DQA1\*5アリル保有割合と抗TNF- $\alpha$ 抗体製剤の二次無効に関する単施設後方視的観察研究**  
名古屋市立大学消化器代謝内科学  
尾関 啓司、管野 琢也、西垣 瑠里子、久保田 英嗣、片岡 洋望
- S4-7 ウステキヌマブ8週寛解維持療法中の潰瘍性大腸炎患者の12週への期間延長研究 UC-EXTEND study（1年目の評価）**  
埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科  
加藤 真吾

---

16 : 40～16 : 50

## 表彰式・閉会式